

入札説明書 添付10

R1.12.13 訂正版

国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業

見積参考資料

令和元年10月

国土交通省中部地方整備局

この「見積参考資料」は、本事業の現場条件等を考慮し標準的な事業内容等を参考に示した資料であり、契約図書ではない。従って「見積参考資料」は事業契約上の拘束力を生じるものではなく、事業者は、施工方法、地質条件等を十分考慮して、設計、工事、維持管理、調整マネジメント等、事業目的を完成・維持するための一切の手段について事業者の責任において定めるものとする。

資料一覧

1. 見積参考資料（整備工事業務）
2. 見積参考歩掛（整備工事業務）
3. 見積参考資料（設計業務・維持管理業務）
4. 見積参考歩掛（設計業務・維持管理業務）

見 積 参 考 資 料

工 事 名 22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管
除く）

この「見積参考資料」は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積もりに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件及び地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。

なお、見積参考資料の内容に関する事項は質問することが出来ない。

また、「見積参考資料」の有効期限は、本工事の入札（見積）日までとする。

国土交通省 中部地方整備局
名古屋国道事務所 管理第二課

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
電線共同溝		式		1						
仮設工		式		1						
交通管理工		式		1						
交通誘導警備員 A 昼間		人日		1,600		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A	人日	1		
交通誘導警備員 B 昼間		人日		8,000		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B	人日	1		
舗装版撤去工		式		1						
舗装版破砕工		式		1						
殻運搬	アスファルト殻	m3		171		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝） 積載区分=アスファルト塊；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=10.5km以下；	m3	1		
殻処分	アスファルト殻	m3		171		< 1 m3当り > 処分費（m3）	m3	1		
舗装版切断	アスファルト舗装版 t=40	m		4,270		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1		

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
舗装版切断	アスファルト舗装版 t=50	m		940		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1
舗装版切断	アスファルト舗装版 t=100	m		550		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1
舗装版切断	アスファルト舗装版 t=250	m		130		< 1 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版；アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	1
舗装版破碎	アスファルト舗装版 t=40	m2		2,120		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込	m 2	1
舗装版破碎	アスファルト舗装版 t=50	m2		460		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込	m 2	1
舗装版破碎	アスファルト舗装版 t=100	m2		270		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込	m 2	1
舗装版破碎	アスファルト舗装版 t=250	m2		140		< 1 m2当り > 舗装版破碎積込	m 2	1
開削土工		式		1				
残土処理工		式		1				

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					（当初）	工種区分	C・C・BOX工事
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
土砂等運搬	土砂	m3		4,030		< 1 m3当り > 運搬（電線共同溝） 積載区分=土砂；DID区間の有無=有り；運搬距離(km) (DID区間有)=10.5km以下；	m3	1
電線共同溝工		式		1				
管路工(管路部)		式		1				
管路-1		m		197		< 100 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置； 多孔管設置 φ30(8孔) φ50(8孔) 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類= 再生クラッシュ 40~0；費用の内訳=全ての費用； 床掘り 埋戻し・締固め 土質=中埋砂； 埋戻し・締固め 土質=土砂；	m m m m m m m2 m3 m3 m3	300 800 300 100 100 69 160 50 70

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管路-2						< 100 m当り >			
						管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	200	
						管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	800	
						管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	300	
						管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	100	
						多孔管設置 φ30(8孔) φ50(8孔)	m	100	
						基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40~0；費用の内訳=全ての費用；	m ²	69	
						床掘り	m ³	150	
						埋戻し・締固め 土質=中埋砂；	m ³	50	
						埋戻し・締固め 土質=土砂；	m ³	60	
		m		1,312					

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
管路-3						< 100 m当り >			
						管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	200	
						管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	800	
						管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置；	m	300	
						管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=FA管設置；	m	100	
						多孔管設置 φ30(8孔) φ50(8孔)	m	100	
						基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40~0；費用の内訳=全ての費用；	m ²	69	
						床掘り	m ³	160	
						埋戻し・締固め 土質=中埋砂；	m ³	50	
						埋戻し・締固め 土質=土砂；	m ³	70	
		m		1,535					

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
横断管路						< 100 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=多条管設置； 多孔管設置 φ30(8孔) φ50(8孔) 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下；碎石の種類=再生クラッシュラン 40～0；費用の内訳=全ての費用； 床掘り 埋戻し・締固め 土質=中埋砂； 埋戻し・締固め 土質=土砂；	m	200	
		m		65					
プレキャストボックス工(特殊部)									
		式		1					

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
タイプ①						< 1 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックス [°] ロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフレンクリーン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックス [°] ロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレンクリーン賃料補正係数=標準； 均しコンクリート 18-8-40BB t=100（ハック材打設） モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 排水ピット（材料費） 支持金具（材料費） 支持金具（材料費） 受金具（材料費） 受金具（材料費） 铸铁蓋 Φ810（歩道用） 嵩上げブロック（材料費） 嵩上げブロック（材料費） 銘板設置 アクリル板 L250×W120×t3 床掘り 埋戻し・締固め 土質=土砂；	箇所	60	個 2 個 2 m ² 7 m ³ 0.2 箇所 2 個 4 個 2 個 2 個 4 個 4 組 2 個 2 個 2 枚 2 m ³ 15 m ³ 4

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）（当初）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称	単 位	数 量	
タイプ⑤						< 1 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下； ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準； 均しコンクリート 18-8-40BB t=100 (ハック材打設) モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 排水ピット（材料費） 支持金具（材料費） 支持金具（材料費） 支持金具（材料費） 支持金具（材料費） 支持金具（材料費） 支持金具（材料費） 受金具（材料費） 受金具（材料費） 鋳鉄蓋 Φ810(歩道用) 嵩上げブロック（材料費） 嵩上げブロック（材料費） 銘板設置 アクリル板 L250×W120×t3	個 個 個 個 個 個 m2 m3 箇所 個 個 個 個 個 個 個 個 個 組 個 個 枚	1 1 1 2 2 15 0.3 3 3 4 3 2 2 4 12 2 2 2 4	

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、 引込連系管除く）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
		箇所		4		床掘り	m ³	35	
						埋戻し・締固め 土質=土砂;	m ³	13	
タイプ⑥						< 1 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックス [°] ロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレックレン賃料補正係数=標準;	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックス [°] ロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレックレン賃料補正係数=標準;	個	1	
						プレキャストボックスブロック設置 ボックス [°] ロック1個当り質量=1000kg以下; ラフレックレン賃料補正係数=標準;	個	2	
						均しコンクリート 18-8-40BB t=100 (ハック材打設)	m ²	5	
						モルタル練 セメント種類=高炉; 混合比=1:3; 費用の内訳=全ての費用;	m ³	0.1	
						排水ピット (材料費)	箇所	1	
						铸铁蓋 500×710 開閉器用(平板 [°] ロック用)	組	1	
						銘板設置 アクリル板 L250×W120×t3	枚	2	
						床掘り	m ³	8	
						埋戻し・締固め 土質=中埋砂;	m ³	0.9	
		箇所		20		埋戻し・締固め 土質=土砂;	m ³	2	

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
タイプ⑦		箇所		25		< 1 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準； 均しコンクリート 18-8-40BB t=100（バック材打設） モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 排水ピット（材料費） 鋳鉄蓋 710×1000 変圧器用（平板ブロック用） 銘板設置 アクリル板 L250×W120×t3 床掘り 埋戻し・締固め 土質=中埋砂； 埋戻し・締固め 土質=土砂；	個	1	
							個	1	
							個	2	
							m ²	7	
							m ³	0.1	
							箇所	1	
							組	1	
							枚	2	
							m ³	12	
							m ³	1.3	
							m ³	2	

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
タイプ⑨						< 1 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準； 均しコンクリート 18-8-40BB t=100（ハック材打設） モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 排水ピット（材料費） 鋳鉄蓋 500×710 開閉器用（平板ブロック用） 鋳鉄蓋 710×1000 変圧器用（平板ブロック用） 銘板設置 アクリル板 L250×W120×t3 床掘り 埋戻し・締固め 土質=中埋砂； 埋戻し・締固め 土質=土砂；	個 個 個 個 個 個 m ² m ³ 箇所 組 組 枚 m ³ m ³ m ³	1 1 1 1 2 10 0.2 2 1 1 2 19 2.2 4	
		箇所		6					

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事																		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項																				
						名称	単位	数量																		
パイ⑫		箇所		12		< 1 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準； 均しコンクリート 18-8-40BB t=100（ハック材打設） モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 排水ピット（材料費） 鋳鉄蓋 Φ810（歩道用） 銘板設置 アクリル板 L250×W120×t3 床掘り 埋戻し・締固め 土質=中埋砂； 埋戻し・締固め 土質=土砂；	個	1	個	2	m ²	5	m ³	0.1	箇所	1	組	1	枚	2	m ³	7	m ³	0.8	m ³	1

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）				（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事																									
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項																										
						名称	単位	数量																								
タイプ⑬						< 1 箇所当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下； ラフレックレン賃料補正係数=標準； プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下；ラフレックレン賃料補正係数=標準； 均しコンクリート 18-8-40BB t=100（ハック材打設） モルタル練 セメント種類=高炉；混合比=1:3；費用の内訳=全ての費用； 排水ピット（材料費） 支持金具（材料費） ケーブル仕切金物（材料費） φ32 956×258 樹脂被覆 横平鋼（材料費） 65×9 L=1950 鋳鉄蓋 2000×550 銘板設置 アクリル板 L250×W120×t3 床掘り 埋戻し・締固め 土質=中埋砂； 埋戻し・締固め 土質=土砂；	個	1	個	2	m ²	3	m ³	0.04	箇所	2	個	5	個	1	個	1	組	1	枚	2	m ³	4	m ³	0.5	m ³	1
防護工		式		1																												
管防護 (1)	廃材プラスチック(900×600)	m		3,046		< 100 m当り > 地中管路防護板（1）敷設 廃プラスチック板 W900×L600	m	100																								
管防護 (2)	廃材プラスチック(450×900)	m		250		< 100 m当り > 地中管路防護板（2）敷設 廃プラスチック板 W450×L900	m	100																								

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務 (支障移設、引込連系管除く) (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
防護鉄板	791×600 t=12	m		65		< 100 m当り > 防護鉄板敷設 791×600 t=12 (L-40×40×5付)HDZ35	m	100	
埋設標示シート	W=300 2倍	m		65		< 100 m当り > 埋設標識シート敷設 埋設標示シート W=300 2倍	m m	100 102	
埋設標示鋳	φ30×30 アルミ合金	個		240		< 1 個当り > 埋設標示鋳設置 φ30×30 アルミ合金	個	1	
埋設標示プレート	100×50 アルミ製	枚		80		< 1 枚当り > 埋設標示プレート設置 100×50 アルミ製	枚	1	
舗装工		式		1					
アスファルト舗装工 (歩道仮舗装)		式		1					
表層(歩道部)	再生密粒度アスファルト混合物(13) t=40	m2		2,050		< 1 m2当り > 表層(歩道部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=40 m m; 材料=再生密粒度アスファルト混合物(13); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用;	m2	1	
アスファルト舗装工 (乗入仮舗装)		式		1					

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) t=50	m2		261		< 1 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=再生粗粒度アスファルト混合物(20); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1
表層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) t=50	m2		261		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=再生粗粒度アスファルト混合物(20); 瀝青材料種類=無し; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1
アスファルト舗装工 (支道舗装)		式		1				
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシュ RC-40 t=200	m2		437		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=200 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	1
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスファルト混合物(20) t=50	m2		437		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 m m; 材料=再生密粒度アスファルト混合物(20); 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1
アスファルト舗装工 (車道舗装)		式		1				

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事	
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシュラン RC-40 t=150	m2		143		< 1 m2当り > 下層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=150 mm；施工区分=1層施工； 材料=再生クラッシュラン RC-40；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩)	粒度調整砕石 M-30 t=100	m2		143		< 1 m2当り > 上層路盤（歩道部） 全仕上り厚(実数入力)=100 mm；施工区分=1層施工； 材料=粒度調整砕石 M-30；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
上層路盤(車道・路肩)	再生瀝青安定処理材(40) t=100	m2		143		< 1 m2当り > 上層路盤（車道・路肩部） 材料=再生瀝青安定処理材(40)；平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(100mm以下)(実数入力)=100 mm；瀝青材料種類=プライムコート PK-3；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
基層(車道・路肩)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) t=50	m2		143		< 1 m2当り > 基層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生粗粒度アスファルト混合物(20)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	
中間層(車道・路肩)	再生粗粒度アスファルト混合物(20) t=50	m2		143		< 1 m2当り > 中間層（車道・路肩部） 平均幅員=1.4m以上3.0m以下；1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm；材料=再生粗粒度アスファルト混合物(20)；瀝青材料種類=タックコート PK-4；費用の内訳=全ての費用；	m 2	1	

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務 (支障移設、引込連系管除く)					(当初)	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
表層(車道・路肩部)	再生密粒度アスファルト混合物(20) t=50	m2		143		< 1 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m以上3.0m以下; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=再生密粒度アスファルト混合物(20); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		
ブロック舗装工(歩道舗装)		式		1						
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュ RC-40 t=100	m2		10,180		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=100 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		
特殊ブロック舗装	透水性平板(300×300) t=60	m2		10,180		< 1 m2当り > 特殊ブロック舗装 作業区分=設置; ブロック規格=30cm×30cm;	m 2	1		
ブロック舗装工(乗入舗装(B))		式		1						
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシュ RC-40 t=100	m2		912		< 1 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=100 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		
上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理(40) t=80	m2		912		< 1 m2当り > 上層路盤(車道・路肩部) 材料=再生瀝青安定処理材(40); 平均幅員=1.4m以上3.0m以下; 1層当り平均仕上り厚(100mm以下)(実数入力)=80 mm; 瀝青材料種類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	1		

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
特殊ブロック舗装	透水性平板(300×300) t=80	m2		912		< 1 m2当り > 特殊ブロック舗装 作業区分=設置; ブロック規格=30cm×30cm;		m 2	1	
区画線工		式		1						
区画線工		式		1						
溶融式区画線	白実線 W=15cm t=1.5mm 排水性舗装無	m		13		< 1 m当り > 区画線設置		m	1	
溶融式区画線	白実線 W=45cm t=1.5mm 排水性舗装無	m		50		< 1 m当り > 区画線設置		m	1	
溶融式区画線	白実線 W=75cm t=1.5mm 排水性舗装無	m		3		< 1 m当り > 区画線設置 白実線 W=75cm t=1.5 排水性舗装無		m	1	
溶融式区画線	白セアラ W=45cm t=1.5mm 排水性舗装無	m		29		< 1 m当り > 区画線設置		m	1	
構造物撤去工		式		1						
構造物取壊し工		式		1						
コンクリート構造物取壊し	無筋構造物	m3		6		< 1 m3当り > 構造物とりこわし		m 3	1	

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					（当初）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称			単位	数量
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m3		265		< 1 m3当り > 構造物とりこわし	m3	1		
舗装版破砕	アスファルト舗装版 t=40	m2		10,180		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m2	1		
舗装版破砕	アスファルト舗装版 t=100	m2		910		< 1 m2当り > 舗装版破砕 舗装版種別=アスファルト舗装版；障害等の有無=無し；騒音振動対策=必要；舗装版厚=15cm以下；積込作業の有無=有り；費用の内訳=全ての費用；	m2	1		
排水構造物撤去工		式		1						
管(函)渠型側溝撤去	D300	m		103		< 100 m当り > 管(函)渠型側溝(製品長 2m/個) 作業区分=撤去；内径又は内空幅(mm)=200mm以上400mm以下；費用の内訳=全ての費用；	m	100		
運搬処理工		式		1						
殻運搬	コンクリート殻(無筋)	m3		6		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし；積込工法区分=機械積込；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有)=14.0km以下；費用の内訳=全ての費用；	m3	1		

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名 称		単 位	数 量	
殻運搬	コンクリート殻(二次製品)	m3		265		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=コンクリート(無筋・鉄筋)構造物とりこわし； 積込工法区分=機械積込； DID区間の有無=有り； 運搬距離(km)(DID区間有)=14.0km以下； 費用の内訳=全ての費用；	m3	1		
殻運搬	アスファルト殻	m3		499		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=舗装版破砕； 積込工法区分=機械積込(騒音対策不要、厚15cm超)又(騒音対策必要)； DID区間の有無=有り； 運搬距離(km)(DID区間有)=12.0km以下； 費用の内訳=全ての費用；	m3	1		
殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3		6		< 1 m3当り > 処分費 (m3)	m3	1		
殻処分	コンクリート殻(二次製品)	m3		265		< 1 m3当り > 処分費 (m3)	m3	1		
殻処分	アスファルト殻	m3		499		< 1 m3当り > 処分費 (m3)	m3	1		
直接工事費		式		1						
共通仮設費		式		1						
共通仮設費		式		1						

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、 引込連系管除く）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
技術管理費		式		1						
道路台帳作成費		式		1		道路台帳作成費	式	1		
現場環境改善費（率計上）		式		1		市街地補正=市街地				
共通仮設費（率計上）		式		1		施工地域補正=市街地（D I D）（1）；除雪工補正=補正無；週休2日の補正=しない				
純工事費		式		1						
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地（D I D）（1）；緊急工事補正=しない；砂防・地滑り工事補正=しない；週休2日の補正=しない				
工事原価		式		1						
一般管理費等		式		1						
工事価格		式		1						
消費税相当額		式		1						

見積参考資料

工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、引込連系管除く）					（ 当 初 ）	工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項				
						名称		単位	数量	
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。				

見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分5 一般管理費等対象 管理費区分7 間接労務費対象労務費	○：該当する管理費区分が含まれている					
工事名	22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務（支障移設、（当初） 引込連系管除く）				事業区分	共同溝・電線共同溝			
	細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
	殻処分	アスファルト殻	m3	171	○				
	殻処分	コンクリート殻(無筋)	m3	6	○				
	殻処分	コンクリート殻(鉄筋)	m3	265	○				
	殻処分	アスファルト殻	m3	499	○				

国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業

既設支障施設の移設・解体撤去・復旧業務 見積参考資料

工種	追加事項	備考
既設支障施設の移設・解体撤去・復旧業務	当初においては、整備工事業務の20%を計上	

国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
連携管路、連携設備及び引込管の施工 見積参考資料

工種	追加事項	備考
連携管路、連携設備及び引込管の施工	当初においては、整備工事業務の20%を計上	電線管理者への委託を基本

22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 整備工事業務 見積参考歩掛

本見積参考歩掛は、本整備工事業務のみで有効です。
また、この見積条件は、本整備工事業務の設計図書によるものです。

電線共同溝工

管路工(管路部)

- 管路-1, 管路-2, 管路-3, 横断管路

多孔陶管設置 φ30(8孔) φ50(8孔) 100 m当り

名 称	規 格	単 位	数量	摘 要
土木一般世話役		人	1.00	
特殊作業員		人	1.00	
普通作業員		人	6.00	
多孔陶管	φ30(8孔) φ50(8孔)	m	100	
諸雑費(まるめ)		式		

電線共同溝工

プレキャストボックス工(特殊部)

- タイプ①, タイプ⑤, タイプ⑥, タイプ⑦, タイプ⑨, タイプ⑫, タイプ⑬

銘板設置 アクリル板 L250×W120×t3 100 枚当り

名 称	規 格	単 位	数量	摘 要
土木一般世話役		人	0.30	
特殊作業員		人	1.20	
普通作業員		人	0.45	
銘板	アクリル板 L250×W120×t3 (黒掘込文字)	枚	100	
諸雑費(率+まるめ)		式(%)	1(7%)	

※諸雑費は、ハンマドリル損料及び電力に係る経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

電線共同溝工

防護工

- 管防護(1)(廃材プラスチック(900×600))

地中管路防護板(1) 敷設 廃プラ板 W900×L600 100 m当り

名 称	規 格	単 位	数量	摘 要
土木一般世話役		人	0.50	
普通作業員		人	1.00	
地中管路防護板	廃プラ板 W900×L600	枚	167	
諸雑費(率+まるめ)		式(%)	1(4%)	

※諸雑費は、防護板の配置に使用するダンプトラックおよび燃料費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

電線共同溝工

防護工

- 管防護(2)(廃材プラスチック(450×900))

地中管路防護板(2) 敷設 廃プラ板 W450×L900 100 m当り

名 称	規 格	単 位	数量	摘 要
土木一般世話役		人	0.45	
普通作業員		人	0.90	
地中管路防護板	廃プラ板 W450×L900	枚	111	
諸雑費(まるめ)		式	1	

電線共同溝工

防護工

- 防護鉄板(791×600 t=12)

防護鉄板敷設(791×600 t=12(L-40×40×5付)HDZ35) 100 m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	1.00	
普通作業員		人	1.00	
防護鉄板	791×600 t=12(L-40×40×5付)HDZ35	枚	167	
諸雑費(率+まるめ)		式(%)	1(20%)	

※諸雑費は、防護鉄板の配置に使用するダンプトラックおよび燃料費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

電線共同溝工

防護工

- 埋設標示鋳(φ30×φ30 アルミ合金)

埋設標示鋳設置 φ30×30 アルミ合金 100 個当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	0.15	
特殊作業員		人	0.60	
普通作業員		人	0.20	
埋設標示鋳	φ30×30 アルミ合金	個	100	
諸雑費(率+まるめ)		式(%)	1(7%)	

※諸経費は、ハンマドリル損料及び電力に係る経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

電線共同溝工

防護工

- 埋設標示プレート(100×50 アルミ製)

埋設標示プレート設置 100×50 アルミ製 100 枚当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	0.50	
特殊作業員		人	2.00	
普通作業員		人	0.70	
埋設標示鋳プレート	100×50 アルミ製	枚	100	
諸雑費(率+まるめ)		式(%)	1(7%)	

※諸経費は、ハンマドリル損料及び電力に係る経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
詳細設計業務 見積参考資料

当資料は、見積の参考資料であり、契約図書とはならない

工種	追加事項	備考
電線共同溝 詳細設計		
各部設計	管路部、特殊部、地上機器部、仮設構造物 …各1ケース	
応力計算	各1ケース	
予備設計	有り	
地域による補正	市街地（D I D地区）以外 0.70km	
打合せ	業務着手時1回 中間4回、成果物納入時1回 合計 6回	
関係機関打合せ協議	「共仕」第6516条第8項に基づき、次の機関との協議 用資料・説明用資料を作成し、打合せに同行することを想 定して計上。 関係機関：2機関	
合同現地踏査	発注者及び受注者が、合同で現地踏査を1回実施するも のとして計上。実施時期については、業務着手後速やか に行うことを原則としている。	

国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
詳細設計業務 見積参考資料

当資料は、見積の参考資料であり、契約図書とはならない

工種	追加事項	備考
照査技術者による報告	<p>1. 照査技術者は、発注者の指示する業務の節目及び業務が完了したときは、照査について発注者に報告するものとして計上。なお、照査技術者自身による照査の報告は以下の3回を想定している。</p> <p>(1) 業務着手時</p> <p>(2) 基本条件の照査提出時</p> <p>(3) 細部条件、構造物細目の照査提出時</p> <p>2. 照査技術者は、照査の実施にあたっては、別に定める「詳細設計照査要領」によるものとし、段階毎に確認を受けた後、その記録を提出するものとする。</p> <p>なお、基本条件の照査及び細部条件、構造物細目の照査の提出時において照査技術者は、発注者と打合せを行うことを[想定している。</p> <p>3. 照査技術者は、原則検査時に立ち会うものとしている。</p>	
公開用成果物の作成	<p>調査業務及び計画業務の成果は、共仕第1210条第5項に定めるものに加え、公開用成果物の作成について以下のとおりとする。</p> <p>1. 本業務は、公開用成果物の作成対象業務とする。</p> <p>成果物とりまとめにあたっては、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律等」における「不開示情報」に該当する情報が含まれるか否かについて、発注者に確認を求めなければならない。</p> <p>この確認において、「不開示情報」が含まれている場合は、個々の具体の指示に基づき、マスキング等の措置を行い、情報公開用資料を別途とりまとめるものとする。</p>	

国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
調整マネジメント業務（工事段階） 見積参考資料

工種	追加事項	備考
調整マネジメント業務（工事段階）	<p>I. 業務内容は、以下を想定して計上しているが、実際は、要求水準書による</p> <p>1. 業務対象工事の契約の履行に必要な資料作成等 (1) 工事の設計図書等に基づく「指示・協議に必要な資料（構造計算、比較設計、詳細な構造図等は除く）」の作成・提出 (2) 設計図書との照合 (3) 次の各号に掲げる項目がある場合は、現地の確認及び調査並びに検討に必要な資料（構造計算、比較設計、詳細な構造図等は除く）の作成 1) 設計図書が現場条件と一致しないこと。 2) 設計図書に誤謬又は脱漏があること。 3) 設計図書の表示が明確でないこと。 4) 工事現場の形状、地質、湧水等の状態、施工上の制約等設計図書に示された施工条件と実際の工事現場が一致しないこと。 5) 設計図書で明示されていない施工条件について予期することのできない特別な状態が生じたこと。 6) 工事を一時中止し、又は打ち切る必要があると認められる場合。 (4) 工事の設計変更若しくは契約担当官等への報告事項に必要な調査、簡易な測量及び図書等の資料（構造計算、比較設計、詳細な構造図等は除く）作成</p> <p>2. 業務対象工事の施工状況の照合等</p> <p>II. 工事管理：10工事を想定して計上している</p> <p>III. 工事監督：84月を想定して計上している</p>	

国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
工事監理業務 見積参考資料

工種	追加事項	備考
工事監理業務	<p>I. 業務内容は、以下を想定して計上しているが、実際は、要求水準書による</p> <p>1. 業務対象工事の契約の履行に必要な資料作成等</p> <p>(1) 工事の設計図書等に基づく「指示・協議に必要な資料（構造計算、比較設計、詳細な構造図等は除く）」の作成・提出</p> <p>(2) 設計図書との照合</p> <p>(3) 次の各号に掲げる項目がある場合は、現地の確認及び調査並びに検討に必要な資料（構造計算、比較設計、詳細な構造図等は除く）の作成</p> <p>1) 設計図書が現場条件と一致しないこと。</p> <p>2) 設計図書に誤謬又は脱漏があること。</p> <p>3) 設計図書の表示が明確でないこと。</p> <p>4) 工事現場の形状、地質、湧水等の状態、施工上の制約等設計図書に示された施工条件と実際の工事現場が一致しないこと。</p> <p>5) 設計図書で明示されていない施工条件について予期することのできない特別な状態が生じたこと。</p> <p>6) 工事を一時中止し、又は打ち切る必要があると認められる場合。</p> <p>(4) 工事の設計変更若しくは契約担当官等への報告事項に必要な調査、簡易な測量及び図書等の資料（構造計算、比較設計、詳細な構造図等は除く）作成</p> <p>2. 業務対象工事の施工状況の照合等</p> <p>II. 工事管理：10工事を想定して計上している</p> <p>III. 工事監督：84月を想定して計上している</p>	

国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
調整マネジメント業務（維持管理段階） 見積参考資料

工種	追加事項	備考
調整マネジメント業務（維持管理段階）	<p>I. 業務内容は、以下を想定して計上しているが、実際は、要求水準書による</p> <p>1. 業務対象工事の契約の履行に必要な資料作成等</p> <p>（1）工事の設計図書等に基づく「指示・協議に必要な資料（構造計算、比較設計、詳細な構造図等は除く）」の作成・提出</p> <p>（2）設計図書との照合</p> <p>（3）次の各号に掲げる項目がある場合は、現地の確認及び調査並びに検討に必要な資料（構造計算、比較設計、詳細な構造図等は除く）の作成</p> <p>1）設計図書が現場条件と一致しないこと。</p> <p>2）設計図書に誤謬又は脱漏があること。</p> <p>3）設計図書の表示が明確でないこと。</p> <p>4）工事現場の形状、地質、湧水等の状態、施工上の制約等設計図書に示された施工条件と実際の工事現場が一致しないこと。</p> <p>5）設計図書で明示されていない施工条件について予期することのできない特別な状態が生じたこと。</p> <p>6）工事を一時中止し、又は打ち切る必要があると認められる場合。</p> <p>（4）工事の設計変更若しくは契約担当官等への報告事項に必要な調査、簡易な測量及び図書等の資料（構造計算、比較設計、詳細な構造図等は除く）作成</p> <p>2. 業務対象工事の施工状況の照合等</p> <p>II. 工事管理：4工事を想定して計上している</p> <p>III. 工事監督：24月を想定して計上している</p>	

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道 2 2 号一宮浅野電線共同溝 P F I 事業 点検業務 (その 2 : 通常巡回)

この「見積参考資料」は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積もりに資するための資料であり、契約書第 1 条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件及び地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。

なお、見積参考資料の内容に関する事項は質問することが出来ない。

また、「見積参考資料」の有効期限は、本工事の入札（見積）日までとする。

見積参考資料

工事名	国道2号一宮浅野電線共同溝PFI事業 点検業務 (その2: 通常巡回) (当初)					工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
道路維持		式		1					
維持管理工事		式		1					
巡回工		式		1					
通常巡回	1回/月	回		240		< 1 回当たり > 通常巡回 1回/月	回	1	
直接経費		日		240		< 1 日当たり > 通常巡回経費等	日	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費 (率計上)		式		1		施工地域補正=市街地 (D I D) (1); 除雪工補正=補正無; 週休2日の補正=しない			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地 (D I D) (1); 緊急工事補正=しない; 砂防・地滑り工事補正=しない; 週休2日の補正=しない			

見積参考資料

工事名	国道2号一宮浅野電線共同溝PFI事業 点検業務 (その2:通常巡回) (当初)					工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

見 積 参 考 資 料

工 事 名 国道 2 2 号一宮浅野電線共同溝 P F I 事業 補修業務

この「見積参考資料」は、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積もりに資するための資料であり、契約書第 1 条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件及び地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。

なお、見積参考資料の内容に関する事項は質問することが出来ない。

また、「見積参考資料」の有効期限は、本工事の入札（見積）日までとする。

見積参考資料

工事名	国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 補修業務 (当初)					工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
道路維持		式		1					
維持管理工事		式		1					
補修・修繕工		式		1					
マンホール蓋取替		基		60		< 1 基当り > マンホール蓋取替	基	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					
共通仮設費 (率計上)		式		1		施工地域補正=補正無し(地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合); 除雪工補正=補正無し; 週休2日の補正=しない			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=補正無し(地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合); 緊急工事補正=しない; 砂防・地滑り工事補正=しない; 週休2日の補正=しない			
工事原価		式		1					

見積参考資料

工事名	国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業 補修業務 (当初)					工種区分	道路維持工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
一般管理費等		式		1					
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

**国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
詳細設計業務 見積参考歩掛**

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路設計							1km当り
歩道詳細設計							
設計計画		0.5	0.5				
現地踏査			0.8	0.8	1.7		
平面設計			0.5	0.5	0.5	1.0	
縦断設計				0.5	0.5		
横断設計				0.5	1.0	1.0	
小構造物設計				0.7	0.7	1.7	
用排水設計					0.5	0.5	
設計図				0.5	1.5	1.5	
数量計算				1.5	1.0	3.1	
照査		1.0	0.5	0.7	0.7		
報告書作成				1.0	0.5	1.0	
合計		1.5	2.3	6.7	8.6	9.8	

**国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
調整マネジメント業務(調査・設計段階) 見積参考歩掛**

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路設計							1式
設計マネジメント							24ヶ月
業務計画			1.40				1業務当たり
小計			1.40				1業務当たり
調整・協議等					7.60		1月当たり
打合せ			0.39				1月当たり
合計			0.39		7.60		1月当たり

**国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
調整マネジメント業務(工事段階) 見積参考歩掛**

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路設計							1式
工事マネジメント							84ヶ月
業務計画			1.40				1業務当たり
工事管理			4.00				1式(10工事当たり)
小計			5.40				1業務当たり
工事監督			0.21		7.60		1月当たり
合計			0.21		7.60		1月当たり

**国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
工事監理業務 見積参考歩掛**

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路設計							1式
工事マネジメント							84ヶ月
業務計画			1.40				1業務当たり
工事管理			4.00				1式(10工事当たり)
小計			5.40				1業務当たり
工事監督			0.21			7.60	1月当たり
合計			0.21			7.60	1月当たり

**国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
点検業務(その1:定期点検) 見積参考歩掛**

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路設計							
道路施設定期点検							1式
道路施設定期点検							1式
計画準備							1回当たり
計画準備							
計画準備		2.00	2.00		2.00		
定期点検							1回当たり
ハンドホール部点検							1回当たり(全90箇所) 機械経費 直人の12%)
ハンドホール部点検				0.50		0.50	
トラフ部点検							1回当たり(全21箇所) 機械経費 直人の10%)
トラフ部点検				0.27		0.27	
信頼性の評価							1回当たり
信頼性の評価							
信頼性の評価		0.10	0.10	0.10			
点検記録表の作成							1回当たり
点検記録表の作成							
点検記録表の作成		0.10	0.20	0.20			
報告書作成							1回当たり
報告書作成							
報告書作成		1.00	1.50	1.50	2.00		
共通							
共通(調査・計画業務)							1式
打合せ等							1式
打合せ		1.50	1.50	1.50			1回当たり(打合せ回数3回)
その他							1式
公開用成果品				0.50	1.00	1.00	1回当たり

**国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
点検業務(その2:通常巡回) 見積参考歩掛**

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路維持							1式
維持管理工事							20年間
巡回工							
道路巡回工							目視点検:1回/月
通常巡回					36.00		240ヶ月
							0.15人工/月
合計					36.00		1工事当たり

※直接経費:日常点検(ライトバン運転費1時間/回)

**国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
補修業務 見積参考歩掛**

作業内容	一般土木 世話役	特殊作業員	普通作業員		交通誘導員 A	交通誘導員 B	備考
道路維持							1式
維持管理工事							20年間
補修・修繕工							
補修・修繕費							3基／年
マンホール蓋取替			7.00		7.00		60基当たり
合計			7.00		7.00		1工事当たり

※マンホール蓋(材料費は未計上)

**国道22号一宮浅野電線共同溝PFI事業
調整マネジメント業務(維持管理段階) 見積参考歩掛**

作業内容	理事、技師長	主任技師	技師A	技師B	技師C	技術員	備考
道路設計							1式
工事マネジメント							24ヶ月
業務計画			1.40				1業務当たり
工事管理			1.60				1式(4工事当たり)
小計			3.00				1業務当たり
工事監督			0.21		7.60		1月当たり
合計			0.21		7.60		1月当たり

※入線・抜柱工事期間(概ね2年間)